

25

まもろう
憲法25条

いのちのとりで裁判 全国アクション NEWS



発行:いのちのとりで裁判全国アクション事務局
TEL:06-6363-3310/FAX:06-6363-3320
〒530-0047 大阪府大阪市北区天満3-14-16
西天満パークビル3号館7階あかり法律事務所
弁護士 小久保哲郎

いのちのとりで 検索

01号

2018年2月発行

2/9 (金) Topic

「生活保護制度の充実を求める緊急署名」を 提出しました。

6万5,914筆

署名の追加提出を行いません。
お手元の署名をご郵送ください。

昨年10月からとりくんできた「いのちのとりで署名」、1月末に最終締め切りをし、2月9日(金)、厚労省に提出しました。

提出したのは48,443筆、12月に提出した17,471筆も加えると合計で65,914筆になります。

今回対応したのは、前回同様、新垣課長補佐ひとりでした。約束の時間になっても会議室のカギが開かず、15分も待たされるという、あり得ない対応でした。

要請団を代表して、いのちのとりで裁判全国アクション共同代表の尾藤廣喜弁護士から、「これだけの切実な声が集まっており、引き下げは撤回すべきだ」と強調しましたが、明確な反応はありませんでした。...

また署名提出後も、要請団を見送ることもなく、携帯で他に連

絡するなど、とにかく「聞き置くだけ」という態度でした。

ちなみに、その後も署名は続々と寄せられており、7万筆を超える状況です。ご協力ありがとうございました。ある程度まとまってから、追加提出を行ないます。お手元にある署名はぜひ事務局に送ってください。

署名提出に続いて、厚労省の記者クラブで記者会見も行ないました。マスコミのみなさんは好意的で、私たちの声をしっかりと受け止めてくださっていました。



一方、2013年8月からはじまった生活保護基準の引き下げの取り消しを求める訴訟は全国にひろがり、福岡県の10人追加提訴により、29都道府県、965人の生活保護利用者が、原告として立ち上がっています(2月15日現在)。日本列島凍てつくなかでの傍聴活動や街頭宣伝の報告も各地より寄せられています。

このように訴訟や署名活動等で闘う最中、昨年12月には、耳

を疑うニュースが飛びこんできました。厚生労働省が、生活保護基準を2018年度から3年かけてさらに最大5%削減するとともに、母子加算も月額4000円引き下げの方針を発表したのです。当事者を無視したこの発表は、断じて許すことができないとさまざま集会・街宣行動が各地で行なわれています。その一部を報告します。

12/19 (火) 開催

at 衆議院議員会館 / 主催:「もうひとつの生活保護基準部会」実行委員会

<緊急院内集会> もうひとつの生活保護基準部会

～厚生労働省は、当事者・生活保護基準部会の声を聴け!～

160名が
参加!



登壇していただいた布川日佐史・法政大教授は「生活保護基準部会自体が引き下げるという内容になっていない」。また、森川清弁護士は、「健康で文化的な生活を送ることができていない低所得者と比べて保護基準を引き下げるのはおかしい」。桜井啓太さん・名古屋市立大専任講師は、「貧困の連鎖、子どもの貧困をなくすという流れになっていない」と今回のさらなる基準引き下げの方針を痛烈に批判しました。当事者からも、今回の引き下げに対する怒りや不安を発言していただき、これからも団結して運動をすすめていくことを確認しました。

12/26 (火) 開催

生活保護基準引き下げに反対します 緊急ホットライン ～私たちの声を聞いてください～



当事者の声を内閣総理大臣、厚生労働大臣に届けるために、12月26日(火)、緊急ホットラインをもうけました。その結果、「これ以上保護基準が下がるとしたら、どこを節約できるのか、もう無理、死ねと言われていく気がする…」など

という悲痛な声300件近く届きました。これを受けて、生活保護基準引き下げに反対します(緊急ホットライン)実行委員会は12月27日(水)、要望書を提出しました。

12/23(土) 1/4(木)
開催

東京・新宿開催

呼びかけ：生活保護を大切に思う当事者と市民有志

12/23(土) 「サンタの来ないクリスマス
～生活保護費引き下げ～」

1/4(木) 「わたしたち、明日を生きても
いいですか？」



クリスマス前の12月23日、当事者を含む14名が新宿アルタ前に立ち、手書きのメッセージを掲げ、すべての子どもが明るいクリスマスを過ごせるようになったらいいなという思いで、スタンディングアピールを行ないました。

1月4日は、新年早々から60名を超える人が新宿にあつまり、約1時間のデモを行ないました。映像ディレクター、ジャーナリストの秋山理央さんがYouTubeで動画を発信してくださっています。



1/25(木) 開催

第1回 各地で『いのとりDAY!』

憲法25条にちなんで、25日には街頭宣伝や集会などを行ないましょう!

東京



12:30～13:30、新宿駅西口で「生活保護制度の充実を求める緊急署名」の街頭署名を行ないました。当事者3人を含む12人が宣伝カーから語りかけ、60人を超える参加者で64筆の署名があつまりました。

大阪



「願いはふつうに暮らすこと～なのに、また生活保護基準引き下げ!?～」集会があり、112名が参加しました。引き続き、多くの人たちと協働し運動をすすめていくことを確認しました。

1/28(日) 開催

at新宿東口アルタ前

エキタス×もやい みんなで貧しくなりたいですか?



格差と貧困の是正などを求めて行動する若者グループ「エキタス」と、生活困窮者を支援する「自立生活センター・もやい」が主催し、生活保護基準引き下げに反対するスピーチが2時間継続して行なわれました。4度という寒空のなか、足をとめて話を聞いてくれる人も多くいました。わかりやすいパンフレットも配布されました。もやいのHPよりダウンロードできます。

活用しましょう!



予告! 2018年6月いのちのとりで裁判 原告交流会開催 詳細は未定

<いのちのとりで裁判全国アクションへ入会・更新をお願いいたします>

HPより入会・更新手続きの上、年度会費をお振り込みください。

年度会費：(個人)1口500円、(団体)1口1000円

<口座>○ゆうちょ銀行 記号番号14070-49720311 口座名義 いのちのとりで裁判全国アクション

○他金融機関からの振り込みの場合 【店名】408(読み ヨンゼロハチ) 【店番】408

【預金種目】普通預金 【口座番号】4972031

HPをご覧にならない方は

①個人or団体の口数、②名前(所属)
③住所④電話⑤FAX⑥メールアドレスを
ご記入の上、いのちのとりで
裁判全国アクション事務局まで
FAX(06-6363-3320)してください。